

説教 「聖霊と悪霊」

「人の子らが犯す罪やどんな冒瀆の言葉も、すべて赦される。しかし、聖霊を冒瀆する者は永遠に赦されず、永遠の罪の責めを負う」
マルコによる福音書3章28節〜29節



イエス様は、聖霊を誤解することには赦されないと宣言されました。パウロもコリントの信徒への手紙10章で、聖霊と悪霊を区別できないならば人は悪霊に仕える

と述べました。またマルチン・ルターも聖霊と悪霊は同じところで同じように働くといい注意を与えました。マルチン・ルターが聖霊と悪霊は同じところで同じように働くと語ったその場所は3つあります。1つ目は、罪において。2つ目は、死において。3つ目は、死において。3つ目は、



を深くし、信仰を希望のしるしではなく絶望のしるしにします。人は信仰があってもなくても最期まで「肉」という存在です。人は最期まで罪の力と一つです。ですから罪と完全に一体である人間を罪から救うために、聖霊はその人を罪と共に燃やし、焼き尽くし、滅ぼします。そして、すべてが燃え尽きた灰の中から、神さまが最初に造られた部分を取り出します。だから、その方法に賛同して、自分から炎の中に飛び込む者を聖霊は助けてくれます。その炎の中で滅びるのは罪であって人ではありません。聖霊は人にそうさせ、自分の中に飛び込みなさいと教えます。しかし、悪霊は人にそうさせないよう、そうすればあなたとあなたの家族は滅びると教え、飛び込まないでよい方法を教えます。

次に、死において働く聖霊と悪霊の違いを学びましょう。死は塩と同じです。利きすぎると人の人生を駄目にします。しかし、塩気が全然ないとその人の人生にしまりがありません。ちょうど良い塩加減がその人の人生を豊かにします。聖霊の導きは、それがどんなに危険に満ちたものであっても、最期には人を希望に至らせます。しかし、悪霊の導きは、最初、いかにも素晴らしいものに見えます。一見安全で、美しく、快適です。しかし、最期には人を絶望に至らせます。悪霊は人に死

を見せながら上手に働きかけ、人の人生は結局無駄なように見せ、様々な美しい希望と約束を持ち出し、人を上手に絶望へと導きます。死はこの世で避けられないものの一つです。ですから、避けられないものを避けようとするとは避けられるはずのものが避けられなくなり、それで聖霊は、死がどんなに人を脅し、人の目をくらませて、それから目を逸らさず、それに対して目を開くようにとうながします。そして、神さまの力がそこでどう働くのかを教えます。聖霊はあなたの救いはその中にあると死に対して目を開かせ、悪霊は救いなど見なくてもあなたは大丈夫だと死に対して目をふさぎます。

最後に、黄泉すなわち地獄において働きかける聖霊と悪霊の違いを学びましょう。人は、自分がまだ生きているなら、黄泉・地獄は自分とは関係ないと思ってしまう。そして、自分の人生を自分の手で勝ち取るように、死んだ後の世界も自分の手で勝ち取れると考えています。しかし、その人の目の前に、これからその人が行くことになる黄泉・地獄が、すでに生き地獄として現れていることには目を向けません。人は地獄はあの世にある。また、それをみずから作り出しているの「神さまはどこにおられる」とそれを神さまのせいにしてしまいます。しかし、それがこの世のどこにあって、どこから生み出され、地獄の住人とはいったい誰なのか、それを一番よく知っておられるのが神さまです。そして、この世界でそれと戦われ、それに勝たれたのはイエス様だけでした。人は、その方なしに、地獄すなわちこの世との戦いに勝つことはできません。悪霊は、この世との戦いに自分自身の力で勝てると思え、信じている人を見つけたら喜んでその人のそばに行き、その人の友だちになり、この世のすべてを教え、その人を自分の僕にします。しかし、聖霊は、自分の知恵と力と信仰でこの世に勝てると思えている人は地獄の子として放っておき、もはや自分の知恵・力・信仰ではこの世に勝てない悟り、生き地獄のようなこの世のことで絶望している人を見つけたら、喜んでその人に近づき、あなたは十字架の前で滅びるが、キリストがあなたの勝利となつてくださると言つて、その人を悪霊と罪と共に、この世のすべてを焼き尽くす炎の中に飛び込ませます。こうして、人は悪霊から解放され、聖霊に任せます。わたしたちの信仰はいつもこの二つの戦いの中にあります。

広島教会牧師 山田浩己

ルターによせて(3)
ルターの声
ルターは一体どんな声の持ち主だったのだろう。
少年時代からルターは音楽との関係は深かった。ルターの二百年後にバッハが誕生する町となるアイゼナッハで、彼は、仲間と連れだって、戸毎に聖歌を歌い、施しを受けたことが知られている。今日でも、ドイツ語圏では数多くの教会付属少年合唱団が存在しているが、少年聖歌隊で歌うルターの声は、大層美しいに違いない。

やがて声変わりした彼は、大学生になる。今日のドイツ人やオランダ人は巨人が多いが、十六世紀頃はそれほど胸に響き続けたことだろう。

後年のルターは大説教家だった。あのヴィッテンベルクの騒擾を一週間の連続説教で見事に鎮めたことは有名人が、興奮した三千人の人々に語りかけたその声はどんなものだったのだろう。マイクなどあるはずもない時代だ。良く通る落ち着いた声が、天来の旋律を伴って、集まった人々の胸に響き続けたことだろう。



2011 ルーテルこどもキャンパス
「カンボンアからソングカクハール」
日時: 2011年8月9日(火)~11日(木)
場所: 挙母(こども)教会 (愛知県豊田市)
詳しくはホームページで
<http://www.jelc.or.jp/kidscamp>
主催 日本福音ルーテル教会(JELC)
共催 日本福音ルーテル社団(JELA)

世界の子ども支援+東日本大震災救援 チャリティCD
讚美歌フルート名曲集
「Amazing Grace」
定価 2,000円 (送料別)
フルート 上野由恵 ピアノ 圓井晶子
お申し込みは
日本福音ルーテル社団
メール: jela@jela.or.jp Fax: 03-3447-1523

私の本棚から 震災関連特集



1000時間後のあなたへ〜東日本大震災で頑張ったあなたへ〜

(発行元：公務員連絡会 地方公務員部会)

震災後、通常の仕事を続けながら被災地支援に奔走しておられる関東在住の南三陸町出身の方からこの冊子について紹介を受けまし

もし、ご家族やお知り合いに被災地に関わる公務労働者の方がおられましたら、この冊子をご紹介します。この冊子は、燃え尽き症候群にかしなれば「何か出てもおられず、どうに

てもおられず、どうにかしなれば「何か出て来ることには無いのか」と、被災以後、被災地に居なくても被災者支援のために心を砕いて来た方々が読むにも適している冊子だと感じ

話も聞いてもらおうきっかけを与えられました。特に自己診断テストは、自分の燃え尽き症候群の程度を計るための良い物差しになると



被災後の子どもへのケアの手引き

発行 特定非営利活動法人チャイルド・フアンド・ジャパン 監修・執筆 ルーテル学院大学

PDF版のダウンロード <http://p.tl/XpBh>

近畿福音ルーテル南海教会 牧師 杉岡直樹

公告

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第二三条の規定に基づき公告致します。

二〇一一年六月二十五日

宗教法人

日本福音ルーテル教会

代表役員 渡邊 純幸

信託利害関係人 各位

本教会所管の西原住宅

・土地売却

所在 東京都渋谷区西原一丁目三三番一

地目 境内地

地積 九五〇〇

地番 三八番三

地目 宅地

地積 一五四三

地番 三八番四

地目 宅地

住所変更のお知らせ

地積 三九四七 (持分 二分の一)
建物売却
所在 東京都渋谷区西原一丁目三三番一
種類 西原集会所
構造 木造セメント瓦葺平家建
面積 六〇・九五
売却理由 隣地所有者よりの買付申込みによる。
現地は幅約2メートル弱の上り勾配の進入路(私道、持分二分の一)のみにて、公道に接道しない
とみなされる地形であり、落差一・六mの法面上に位置する狭隘な土地である。
築後五年の老朽家屋も、建築許可が下りないために改築できない。従って通常ならば第三者に売却不可の土地である。
今般隣地所有者が所有地内の家屋新築計画に当り、購入の意思表示があり、唯一の売却先と言える。
将来に亘り利用価値の少ない土地であり、今般好機ととらえ売却するものである。
以上

第四回常議員会報告

日本福音ルーテル教会の第4回常議員会が6月6日(月)午後1時より7日(火)午前中にかけて、ルーテル市ヶ谷センター 第一会議室にて開催され、主以下の報告と協議が行われた。

●東日本大震災ルーテル教会救援

3月11日に発生した東日本大震災の支援活動のために、3月24日付で日本のルーテル4教団の議長の下に設置された

「東日本大震災ルーテル教会救援」(英語表記 Japan Lutheran Emergency Relief) の設置の経緯とその活動の概略として、震災発生以後、各個教会、関係施設に救援支援物資のアピールと支援募金をアピール、その他、海外教会からの多額の支援金の送金等の報告が本部長より行われた。

さらに、それらの募金による三ヶ月間の主な救援活動であるトラック輸送の手段の構築を経て、日本の諸NGO、地方公共機関及び社会福祉協議会と提携した食糧及び日常生活物資を含めた緊急救援活動の展開、工

キユメニカル施設であるアジア学院再建への支援、それに仙台教会の支援センターを拠点としてのボランティア派遣プログラムの補足的に報告された。なお、本部と現地をつなぐコーディネーターとして、当面の間、立野事務局長を牧師スタッフとして現地へ派遣することを常議員会は確認した。

期間4年延長(2016年3月まで)を基本的に承認するが、その前提条件として2015年度からの宣教師給与総経費の完全自給体制(2012年度からの段階的自給計画)を達成してもらうこととし、2016年4月からの派遣期間以後の後任人事はブラジル福音ルーテル教会(IECLB)そのものにすべて委ねることとした。

●ブラジル宣教師派遣期間延長

前回常議員会に現地教会から申請書が出され、継続審議であった徳弘宣教師の派遣期間延長に関しては、申請通り、派遣

●2011年度宣教会議

今年の宣教会議は、ルーテル市ヶ谷センターを会場に、10月5日(水)午後1時より6日(木)午後4時までとし、出席

2011年3月11日に発生した東日本大震災を境に、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。この震災で、ご家族や親しい方をなくされた方々、生活の糧を失った方々の深い悲しみ、そして、復興への長い道りと津波により大きな被害を受けた原子力発電所からもたらされる不安は、あまりに大きいものです。

「We are with you!」 「あなたはひとりじゃない!」 私たちは、海外から寄せられたこのことばに力を得て、緊急・復興支援を開始しました。この手引きは、子どもを中心とした緊急支援活動の一角を担うものです。 家族、学校、そして地域で震災を体験した子ども

住所変更のお知らせ
早川顕一先生
〒143-0025
東京都大田区南馬込3丁目1番12号
電話(03)3776-6369